

Mémoires 2018

ヴィクトリアマイル



第13回ヴィクトリアマイル(GI) 優勝馬 ジュールポレール

雨中の激戦を制し初戴冠

午後から降りはじめた雨は徐々に強くなり、ヴィクトリアマイルのレースまでには、東京競馬場の芝コースは「良」から「稍重」に変わっていた。雨中の一戦となった春の古馬マイル女王決定戦は、1番人気のリスグラシューでも単勝4.3倍と割れた人気の通り、大激戦となった。

レースはカワキタエンカの逃げで始まった。これを前年のNHKマイルカップ優勝馬アエロリット、2着馬リエノテソーロが追う。直後には前年の桜花賞馬レースミノルと、前哨戦の阪神牝馬ステークスで2着と好走してきたレッドアヴァンセ。連覇を目指すアドマイヤードは中団の後ろで、リスグラシューは後方から末脚勝負にかける形となった。

直線、前の3頭に内からレースミノル、外からレッドアヴァンセが並びかけ、5頭が横一線の追い比べに。しかしその均衡も残り200m手前までで、レッドアヴァンセがアエロリットを引き連れるようにして抜け出す。そこへ外からやって来たのがジュールポレールだった。

道中、先行集団を見るように中団の前で進んだジュールポレールは、直線で満を持してスパートするとあっという間にレッドアヴァンセに迫り、残り50mで交わす。さらに外から勢いよく追い込んできたリスグラシューが、これに並んだところがゴール。際どい決着は写真判定の結果、ハナ差でジュールポレールが勝利していた。

前走の阪神牝馬ステークスは5着と賞金を加算できず、一時は出走の可否は抽選に委ねられる可能性もあったジュールポレールだったが、フルゲート最後の18番目ですべり込み。「運」も味方につけ、重賞初制覇をGIの大舞台で成し遂げた。

半兄のサダムパテックは厩舎の先輩でもあるGIウイナー。そんな血統背景もあり早くから期待は高かったが、脚元や体質の弱さからデビューは遅れた。以降も我慢の歩みが続いたが、ようやく「昨年に比べて不安がなくなった」と西園正都調教師。その充実ぶりに、この馬のスピードやパワーが最も生きる「ちょうどいい雨」(幸騎手)が重なり、ついに素質が花開いたのだった。

▶ 接戦を制し、ビッグタイトルを獲得したジュールポレール。



第13回ヴィクトリアマイル(GI)

5/13 東京競馬場 1600m(芝・左) 雨・稍重 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ジュールポレール	牝	5	55	幸 英明	西園 正都	1:32.3	①	⑧⑧
2	リスグラシュー	牝	4	55	武 豊	矢作 芳人	ハナ	⑧	⑬⑬
3	レッドアヴァンセ	牝	5	55	北村 友一	音無 秀孝	クビ	⑦	④④
4	アエロリット	牝	4	55	戸崎 圭太	菊沢 隆徳	1/2	③	②②
5	ミスパンテール	牝	4	55	横山 典弘	昆 貴	1 1/4	④	⑨⑨
6	レッツゴードンキ	牝	6	55	岩田 康誠	梅田 智之	1/2	⑥	⑥⑥
7	ソウルスターリング	牝	4	55	C. ルメール	藤沢 和雄	アタマ	⑤	⑨⑩
8	アドマイヤード	牝	5	55	M. デムーロ	須貝 尚介	1 3/4	②	⑪⑪
9	ワントゥワン	牝	5	55	藤岡 佑介	藤岡 健一	クビ	⑭	⑬⑬
10	レーヌミノル	牝	4	55	和田 竜二	本田 優	クビ	⑨	④④
11	メイソフオーナー	牝	4	55	福永 祐一	藤原 英昭	1 1/4	⑮	⑭⑭
12	デンコウアンジュ	牝	5	55	蛸名 正義	荒川 義之	クビ	⑪	⑪⑪
13	ラビットラン	牝	4	55	川田 将雅	角居 勝彦	ハナ	⑫	⑥⑥
14	カワキタエンカ	牝	4	55	大野 拓弥	浜田多実雄	1 1/4	⑩	⑪⑪
15	リエノテソーロ	牝	4	55	吉田 隼人	武井 亮	1/2	⑯	②②
16	デアレガーロ	牝	4	55	池添 謙一	大竹 正博	クビ	⑬	⑬⑬
17	エテルナミノル	牝	5	55	四位 洋文	本田 優	1/2	⑯	⑭⑭
18	クインズミラーグロ	牝	6	55	藤岡 康太	野中 賢二	1 1/2	⑯	⑯⑯

単勝 ④1,940円 複勝 ④400円 ⑥170円 ⑥350円 枠連(2-8)2,780円
 馬連 ④-⑯4,090円 馬単 ④-⑯11,730円 ワイド ④-⑯1,320円 ④-⑯1,330円 ⑥-⑯870円
 3連複 ④-⑥-⑯8,850円 3連単 ④-⑥-⑯63,640円

ハロンタイム 12.4-11.3-11.5-11.6-11.5-11.1-11.2-11.7
 通過タイム 600m ③35.2-800m ④46.8-1000m ⑤58.3-1200m ①1:09.4-1400m ①1:20.6

優勝馬 **ジュールポレール**
 2013.5.2生 父ディーブインパクト 母サマーナイトシティ 母の父エリシオ
 白老・(有)社台コーポレーション白老ファーム生産 馬主:(株)G1レーシング



▲中団のジュールポレール(帽色・黒・左)は抜群の手応えで直線に向かう。